

「医学と帝国：開港場・軍隊・慈善」

2013年12月14日(土)

名古屋大学東山キャンパス

野依記念学術交流館1階

開会挨拶/趣旨説明 9:30-9:50



福田真人 (名古屋大学国際言語文化研究科・研究科長) / 宮崎千穂 (日本学術振興会特別研究員)

第一部 19世紀後半の開港場における医療・医学

9:50-10:30 福田真人 (名古屋大学国際言語文化研究科)

「英国海軍軍医ニュートンと日本最初の横浜梅毒病院」

10:30-11:10 市川智生 (長崎大学熱帯医学研究所)

「伝染病・軍隊・開港場—1877年のアジアコレラ流行と西南戦争帰還兵問題—」

第二部 19世紀後半におけるロシア海軍医学と日本

11:30-12:10 宮崎千穂 (日本学術振興会特別研究員)

「ロシア海軍における医療・医学地理学の創出と〈梅毒国〉日本」

13:20-14:00 【招待講演】ドミトリー・ハヴロフ (ロシア科学アカデミーロシア史研究所)

「長崎ロシア海軍病院1858年～1906年」

第三部 帝政ロシアにおける医学・医療・慈善

14:20-15:00 【招待講演】アレクサンドル・ソコロフ (サンクトペテルブルグ国立大学)

「ロシア帝国における梅毒予防」

15:10-15:50 イーゴリ・サヴェリエフ (名古屋大学国際開発研究科)

「キリスト教の愛情と慈善の聖なる事業

—日本赤十字社救護班の露都ペトログラードへの派遣とその活動と交流—」

総合討論 16:10-16:50

閉会挨拶 16:50-17:00 福田真人 (名古屋大学国際言語文化研究科・研究科長)

使用言語：日本語・ロシア語 (通訳あり)

主催：名古屋大学国際言語文化研究科 / 独立行政法人日本学術振興会 (研究代表：宮崎千穂)

共催：医療・社会・環境研究会 問い合わせ先：宮崎千穂 miyazaki.chiho@b.mbox.nagoya-u.ac.jp